町制施行60周年記念特集

豊頃町町制施行60年の歩み

豊頃町は令和7年1月1日で町制施行60周年を迎えます。昭和40年に町制施行されてからの本町の歩みを写真を交えながら紹介していきます。

本町に和人として最初に移住した人は、北海道の漁業にあこがれ、文久3年（1863年）に大津に来住した青森県の堺千代吉であると言われています。

明治13年に※十勝外四郡戸長役場（現在の町役場の前身）が設置された時を大津の開基とし、明治30年に函館大津間の航路が開かれると、大津は十勝の玄関口として大いに賑わい、『十勝発祥の地』として繁栄していきます。

明治29年に理想的な開拓地を求め十勝を訪れた二宮尊親一行は幾多の苦難の末ウシシュベツ原野を発見。明治30年に二宮農場として開墾し、現在の豊頃町の礎を築きました。

昭和30年、当時の大津村の特殊な地理的要因から、住民の希望もあり、紆余曲折を経て全国的にも珍しい三分割により大津村の中心部を編入。昭和27年の十勝沖地震以後続く冷水害などのため大変な赤字財政に苦しむことになりますが、次第に健全財政団体として本来の姿を取り戻し、以後各分野において著しい発展を遂げていき、経済事情も好転を続け、昭和39年当時には戸数1904戸、人口1万80人を数え、町並みの形態を整えるまでに発展。

これを受け、昭和39年10月13日の道議会で町制施行の議決がなされ、翌40年1月をもって町制が施行。

ここに大津村、豊頃村の歴史と伝統を受け継いだ新生『豊頃町』としての60年の歴史が幕をあけました。

※中川郡・河東郡・河西郡・上川群の四郡

町制施行当時の茂岩市街

開基100年　祝賀行進

昭和40年1月1日をもって、いよいよ町制が施行されました。

従来、豊頃村と呼称されていた関係機関団体などはすべてこの日から豊頃町と看板が書き換えられることになりました。

昭和42年には豊頃町民憲章が制定され、今もなお、町民の歩むべき道を示し続けています。

昭和54年には、開基百年（明治13年に十勝外四郡の戸長役場が開設されて以来）、町村合併から25年を迎え、記念事業として現在の役場庁舎が完成。

また同年、長年の要望であった大津漁港も開港し、昭和58年には約8年の歳月を経て豊頃大橋が完成を迎え、徐々に現在の景観を整えていきました。

平成以降には次のような出来事があり、例えば、平成9年9月には、町の3大イベントに挙げられていた「秋あじ祭り」、「農業まつり」、「サーモンマラソン」を1つにした第1回「海と大地の祭典」とよころ産業まつりが開催され、近隣町村などの人たちが集まり、大いに盛り上がりました。

平成12年は開町120年を迎えた年で、記念事業としてはるにれ童話の絵本づくりなどが行われました。また社会事業として植樹も実施され、茂岩山の町道に桜やつづじを、十勝川河川敷にはハルニレが植えられました。

平成28年には台風7号、11号、9号、10号が連続して上陸ないし接近した影響で、十勝川が氾濫、決壊寸前となり、はるにれの木が被害を受けました。その後、はるにれの木は6年間をかけて治療されました。

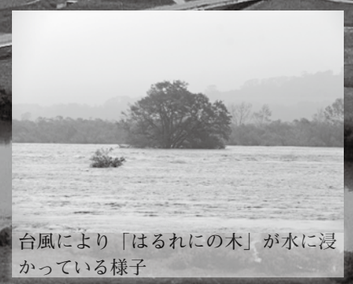
年号が令和へと移り変わり、新型コロナウイルス感染症など様々な困難を乗り越え、令和2年に豊頃町は開町140年を迎えました。同年11月に記念式典が行われ、開町110周年記念式典で埋設した当時の中学3年生の作文などを収めたタイムカプセルの開封式が行われました。

昭和51年に開校された豊頃中学校旧校舎が老朽化に伴い令和5年に新築校舎として豊頃小学校敷地内に改築されました。翌年には豊頃小学校校舎が改修され、豊頃中新校舎と渡り廊下でつながった小中併設校として運用が始まり、小中連携教育がより活発になりました。

令和7年1月1日に豊頃町は町制施行60周年を迎えます。町制60周年を記念し、「ファイターズ観戦チケット大抽選会」をはじめとする各種記念事業が予定されています。

豊頃中学校新校舎が完成し、翌年豊頃小学校と併設校舎として運用開始

開町140周年記念式典にてタイムカプセル開封式が行われている様子


台風により「はるれにの木」が水に浸かっている様子

略年表

文久3年　堺千代吉、大津に初めて定住
明治8年　漁場開設
13年　十勝外四郡戸長役場大津に開設
30年　二宮尊親一行、二宮農場を開く
37年　十勝水産組合できる
大正10年　大津漁業組合発足
昭和7年　十勝川治水工事着手
8年　豊頃村産業組合発足
12年　豊頃村、大津村に商業組合設立
15年　豊頃橋架橋に伴い、渡船禁止
17年　豊頃村、大津村に森林組合設立
22年　公選による村長選挙執行（四月）
23年　豊頃村、大津村に農業協同組合発足
24年　大津村開村70年記念式典挙行
豊頃村開拓農業協同組合発足
大津村漁業協同組合発足
25年　豊頃村開村50周年記念式典挙行
27年　十勝沖地震発生
30年　町村合併により大津村中心部を編入
35年　チリ沖地震津波で大津に被害
豊頃町商工会設立
36年　茂岩橋竣工
農業構造改善事業実践町村に指定
38年　長節原生花園、道天然記念物に指定
昭和40年　町制施行
昭和42年　町民憲章制定
十勝川両岸暫定築堤完成
44年　大津港第四種漁港に昇格
東十勝3町し尿処理場完成
農村電話自動化される
45年　社会福祉センター完成
豊頃町過疎指定町村に、旧大津村地区を山村指定
46年　豊頃町史できる
東十勝消防事務組合発足
47年　名誉町民に堺哲也氏
49年　第一回家畜まつりと秋あじまつり開催
50年　大津郵便局開局100年祝う
51年　新茂岩橋（豊頃大橋）建設工事始まる
52年　農村総合整備モデル事業指定
53年　農村地域工業導入地区に指定
豊頃開拓農協解散し、農業協同組合に合併する
54年　名誉町民に菅原春見氏
豊頃町総合開発計画スタート
豊頃町開町100年記念式典挙行
役場庁舎新築完成
大津漁港一部使用開始
56年　字名地番改正事業（～57年終了）
総合体育館完成
58年　福島県相馬市と姉妹都市締結
豊頃大橋完成
59年　富山県滑川市と姉妹都市締結
第一回とよころサーモンマラソン大会
60年　第一回まちづくり住民大会
豊頃町連合夫人会創立30周年
第一回とよころ夏まつり
名誉町民に神田貞雄氏
61年　第一回とよころカップ十勝綱引選手権大会
森林学習公園「久保の森」オープン
育素多排水機場着工式挙行
清掃センター完成
62年　新豊頃町総合開発計画スタート
63年　「ジャパンFRP開発」企業進出
アイシン精機テストコースの進出
平成元年　協定締結
アイシン精機テストコース誘致
町立豊頃医院新築完成
2年　開町110年記念式典挙行
下水道事業開始
3年　十勝河口橋完成
4年　町有バス運行開始
5年　商工会館新築完成
6年　デイサービスセンター完成
7年　防災行政無線整備
豊頃町体育連盟創立30周年
8年　保健センター完成
カナダ・サマーランドとの姉妹都市締結
茂岩下水浄化センター完成
第一回「海と大地の祭典」とよころ産業まつり開催
10年　農業農村サポートセンター完成
中央区コミュニティーセンター完成
第3次豊頃町総合開発計画スタート
大津地域コミュニティーセンター完成
12年　開町120年記念事業実施
13年　生涯学習施設「える夢館」完成
14年　二宮小学校開校　100年、茂岩小学校に統合
15年　十勝沖地震発生（震度6弱）
17年　町立歯科診療所新築完成
ごみ有料化始まる
茂岩小学校と豊頃小学校が統合
茂岩保育所が旧茂岩小学校に移転
20年　（株）エコERC　BDF工場竣工
町有料バス無料化
茂岩・豊頃・礼文内の3保育所が統合
22年　第4次豊頃町づくり総合計画スタート
友遊館完成
23年　豊頃町情報通信基盤施設（光ケーブル）運用開始
24年　農ある暮らし移住体験用住宅完成
物産直売所完成
25年　町民プール完成
大津漁港65周年記念式典
福祉センター改築完成
いんかるし～長節完成
ユーラス豊頃ソーラーパーク完成
豊頃町制施行50周年式典挙行
全国報徳サミット豊頃大会開催
豊頃町まち・ひと・しごと総合戦略策定
28年　福祉活動拠点施設ひだまり交流館完成
十勝消防広域化
三つの台風により十勝川が氾濫し
はるにれの木が被害を受ける
29年　大津情報通信基盤施設（光ケーブル）運用開始
葬祭場新設供用開始
北海道日本ハムファイターズ豊頃後援会設立
地域おこし協力隊着任
30年　豊頃町まちなか拠点施設ココロコテラスオープン
掛川市と互産互生協定を締結
豊頃中学校改築基本設計着手
令和元年　北海道日本ハムファイターズ応援大使招へい
2年　開町140周年記念事業実施
防災行政無線デジタル化
3年　第5次豊頃町まちづくり総合計画スタート
こどもプラザとよころに大型遊具が完成
4年　名誉町民に宮口孝氏
コロナ禍で開催を見合わせていたとよころ夏まつり、産業まつり、文化祭が3年ぶりに開催
情報発信の新たなツールとして豊頃町公式LINE開設
5年　宮口孝名誉町民が旭日双光章受章
豊頃中学校新校舎完成
建物の老朽化により二宮簡易郵便局を二宮報徳館へ併設
6年　豊頃小学校の改築が完了し、豊頃小中併設校として供用開始
富山県滑川市との姉妹都市締結40周年を記念して町民ツアーを実施
2月15日に交通事故ゼロ2000日達成
大津に津波救命艇を設置